

大げやき

第3号
4.5.31
文:校長

●6月のめあて

体を大切にしよう

四年生は、総合の時間に高齢者について学習しています。十二日(木)には、介護老人福祉施設「やまと」に勤務する内海福祉士から、「認知症」について学びました。認知症の症状や高齢者との接し方を、実際の介護の体験を踏まえて、具体的に教えてくださいました。次は、専用の装具や車椅子を使って、高齢者の疑似体験を行う予定です。



あいさつはどうしてするの？

五月六日の全校朝会で、あいさつの意味について話したので紹介します。皆さんは、なぜあいさつをするのか考えたことがありますか？あいさつをするとうとういう気持ちになりますか？①気持ちが良いようになりますか？②元気になるいませんか？③嬉しくなりませんか？辞書で「挨拶(あいさつ)」の文字の意味を調べてみると、「互いに心を開いて相手に近づくと書かれていました。つまり、あいさつは、「自分がここにいますよ」と知らせ、あいさつした人と仲良しになりましょう」という意味なのです。また、あいさつは、相手を思いやるほかばか言葉なので、元気がなくなったり、嬉しくなったりして、気持ちが良くなるのだと思います。私は、松山小学校を全員が元気にあいさつできる学校にしたい

です。今だけでなく、皆さんが大人になったときにも、明るいあいさつで、地域や社会を明るくしてほしいと願うからです。松山小を、日本一元気なあいさつができる学校にしていきたいです。

うさぎはあったかいよ



校長室前には、うさぎ小屋があります。うさぎを眺めると、そのかわいさで心が癒されます。うさぎ小屋の周りにはいつも子どもたちが集まっています。学校には、四羽のうさぎがいます。平日には、四年生以上の飼育委員が、朝と晩にうさぎ小屋を掃除し、餌をあげ、健康状態を確認してくれています。(週末は担

当教員が行っています。)動物を飼う学校は少なくなってきましたが、動物を身近に感じられることは、命の大切さを考える上で、とても貴重な経験だと考えています。餌代や小屋の維持のお金は、PTAから出しています。また、共同調理場からは、野菜の皮をいただいています。保護者や市の協力のおかげで飼育できて感謝いたします。九月(月)には、三年生が、会津保健福祉事務所で獣医の永富先生を講師に動物愛護講座を行いました。うさぎの特性、飼育の仕方や触れ合い方を学びました。子ども達は、うさぎ小屋に初めて入り、何とかうさぎを抱いて、体のつくりを理解したり、観察の仕方を教えてもらったりしました。うさぎと触れ合うことで、一層、愛着を深めました。

初めて田植えをしたよ



いよいよ農業科が始まりました。四月二十八日に、学校で農業科支援員へ委嘱状を交付し、今年の作物について話し合いました。今年度も、さつまいも、じゃがいも、とうふ豆、カボチャ、里芋、トウモロコシなど、学年毎に決めた、たくさん作物を育てます。五年生は、さつまいもごはんを作るために、稲も育てたいと要望しました。それを受けて、農業科支援員の横山公民館長さんが、学校近くの水田の所有者の大房さんと耕作者の巻アグリの大川原さんの了解を得て、田植え体験ができるようになりました。二十六日(木)に裸足で田んぼに入り、不安でなかなか入れなかった子どもも、一度足を入れると不思議な感覚に楽



しさを感じ、喜んで田植えをしていました。農家生まれの私は、小さい頃を思い出して嬉しくなりました。近くに住む大房さんは、田植えで泥だらけになつた子どものために、自宅の水で足の泥を洗い流してくださいました。地域の協力ののおかげで、子ども達の願いが叶い、学習活動が豊かになりました。地域の方々の優しさに心が温かくなります。

六月の主な行事予定

- 耳鼻科検診(特別)
 - 知能検査(二・四・六年)
 - 六年修学旅行(仙台・松島) 一日(水)
 - 一・二年遠足 二日(木)～三日(金)
 - 一・二年遠足 三日(金)
 - 教育相談(特別) 六日(月)～九日(木)
 - プール開き(四年～六年) 七日(火)
 - 春季運動会(予備日翌日) 十一日(土)
 - 運動会の繰替休業日 十三日(月)
 - 防犯教室 十四日(火)
 - 児童集会(よい歯の集会) 十七日(金)
 - 喜二中学区授業研究会(特別) 二十日(月)
 - *メディアセレクト週間 二十日～二十六日
 - 歯科教室(四年・五年) 二十三日(木)
 - 職員会議(特別) 二十四日(金)
 - 演劇鑑賞教室 二十七日(月)
 - 口座振替日 二十八日(火)
- * 松山小のホームページを、ぜひご覧ください。子ども達の日々の様子を楽しく知ることができます。